

うるくの
コネタ

ローカルコネタ、
歴史ネタなどを紹介



火番原(ヒバンムイ)と
呼ばれる烽火台を
イメージした時計塔

海軍壕公園内にある

『火番原(ヒバンムイ)跡』

海軍壕公園内に琉球王朝時代の火番原(ヒバンムイ)と呼ばれる烽火台をイメージした時計塔があります。かつてここは琉球を守る重要な拠点の一つだったのです。

烽火をあげて進貢船、異国船などの入港を
首里王府に知らせた通信の拠点

琉球王朝時代、現在の海軍壕公園一帯は烽火(のろし)を上げて進貢船、薩摩船、異国船などの入港を首里王府(首里城)に知らせる火番原(ヒバンムイ)があった場所で当時の通信の拠点だったそうです。1644年にできた烽火制度によって、沖縄本島や離島の番所に烽火台が設置され、こもその一つでした。この一帯は今も眺めがよく、海軍壕公園からは東シナ海、那覇市街が展望できます。

(※ここでは「火番原」と漢字表記されていますが先島のものは「火番盛」、ほかに「火番森」という表記もあるようです)



烽火(のろし)を上げて異国船などの
入港を首里王府に知らせた



当時の火番原(ヒバンムイ)をイメージして造られた

火番原(ヒバンムイ)跡から望む景色。
この左手前方に旧海軍司令部壕があります



眺望の良さから日本海軍の司令部が設けられた

この火番原(ヒバンムイ)には沖縄戦当時、最後の海軍司令部が置かれました。司令部壕は全長450mもあったといわれ、4,000名の兵士が収容されていました。眺望の良さ、重要な軍事拠点の一つであった小禄飛行場(現那覇空港)を守るため南東から見下ろす位置でもあったことからこの場所が選定されたといわれています。

【火番原(ヒバンムイ)跡】那覇市小禄、(海軍壕公園内)



編集後記
想いを込めて
丁寧に

今回も素敵なお店の皆さんにご協力いただきました。お忙しい中、取材にご協力いただき本当にありがとうございました! 4回目となった『うるくカフェ特集』は自家製パンで作るサンドウィッチが評判のお店。「お客様に“美味しい”を届けたい」という想いを込めて、パンから丁寧に作られたサンドウィッチは一口ほおばると

思わず笑顔になる美味しさでした。サンドウィッチってなんだかホッとする食べ物ですね。店主の方の明るく温かな人柄と居心地のいい空間。自分時間に、そして親しい人と。美味しいサンドウィッチを食べてホッと一息つきたい時にぜひ出かけてみてください。きっと行きつけのお店になると思いますよ♪



うるくローカルプレスの「小禄(うるく)」は、【小禄、字小禄、大嶺、鏡水、安次嶺、當間、金城、赤嶺、高良、宮城、具志、宇栄原、田原あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS
うるくローカルプレス

WEBサイト

誌面では伝えきれない情報が満載!
<https://uruku.daikyo-k.net>



各SNSからの
メッセージもOK!



Facebook



twitter



instagram



youtube



Spotify

うるくの情報発信局
『うるくローカルプレス』

編集部: 那覇市宇栄原925番地 若葉荘1-3号室
運営: 大鏡建設株式会社(那覇市宇小禄912-1)

お問合せ&窓口

✉ uruku@daikyo-k.net

人とまちの、
未来をつくる。

大鏡建設
DAIKYO CONSTRUCTION

URUKU LOCAL PRESS

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報をお届け!

2026年7月
vol.24

無料 TAKE FREE

通いたくなる、
うるくカフェ。





オレンジブルドポークのグリルドチーズサンド ¥870(税込)
カリッと焼いた自家製パンとチーズにポークが合う！ペロっといけす

オレンジで煮込んだ
豚肉がジューシー！



オレンジブルドポークライスプレート ¥900(税込)
ジューシーなポークはライスとも相性◎
ご近所の宇那志豆腐さんの豆腐で作る
白和え付き



ブリュレフレンチトースト ¥500(税込)
厚みのあるトーストで表面は
カリッと、中はふわっと♡

テーブル席、
カウンター席で
ゆっくり過ごせます



ザ マットー THE MATTO



鉄板で仕上げる
自家製食パンのサンドウィッチ

フードトラック販売からスタートし2024年9月赤嶺に店舗をオープン。鉄板で仕上げる自家製食パンのサンドウィッチやフレンチトーストが評判のお店です。オレンジで約4時間程煮込みほぐした豚肉を挟んだ『オレンジブルドポークのグリルチーズサンド』は鉄板でカリッと焼かれたパンとジューシーな豚肉、グリルされたチーズがたまらない一品。オレンジの酸味で豚肉がさっぱりとしていてボリュームしながらペロリと食べられます。そして厚み3cmの食パンを使った『ブリュレフレンチトースト』は卵液にたっぷり浸したパンを鉄板でカリッと焼き上げ、表面にまぶした三温糖をバーナーでブリュレ。外はカリッと、中はふわっと幸せな味です。「お散歩ついでやちょっと一息ついてゆっくりしてってほしいです」とオーナーの當間さん。静かな住宅街にある居心地の良い空間でモーニングやランチ、カフェ時間に美味しいサンドウィッチやコーヒーでゆったりしませんか？

地元の方へ
メッセージ

赤嶺の隠れ家として時間を忘れてゆっくりに来てください！

うるくの
ココが好き！

住んでいる人が小禄出身の方が多いのでふとした出会いがあり、地域の昔のことなど教えてもらえるのが嬉しいです

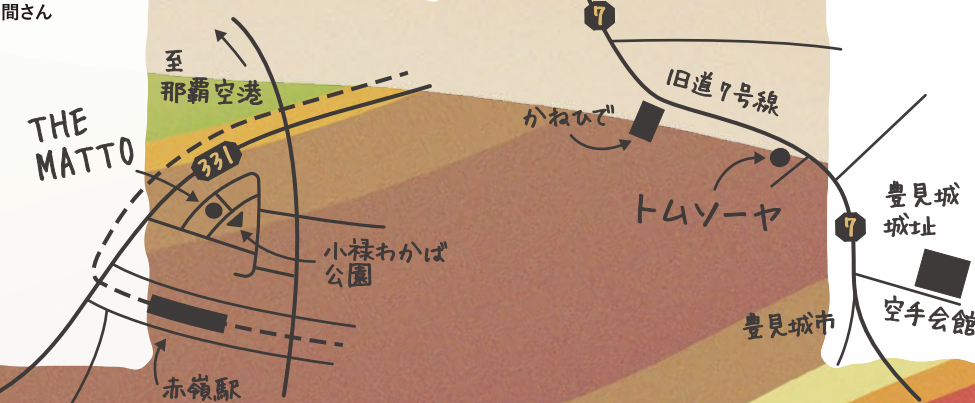
オーナーの當間さん



THE MATTO(ザ マットー)
☎ なし
📍 那覇市赤嶺2丁目14-2
パークマンションマ 101
🕒 7:00-15:00
📱 インスタグラムで確認してください
📶 あり
🌐 the_matto_101

4回目の『うるくカフェ』特集は
サンドウィッチの美味しいお店をご紹介します！

通いたくなる、
うるくカフェ。



憩いカフェ トムソーヤ



自家製パンのサンドイッチで
ゆんたくはんたく

42年に渡り小禄の美味しい焼きたてパンの店として営んできた「トムソーヤ」さんが2024年2月にカフェとして生まれ変わりました。美味しいパンの味はそのままにサンドウィッチやトースト、パスタなどパンを活かしたメニューいっぱいのお店です。人気の『SPECIALサンド』はこだわりの厚さ1.4cmのパンに6種類の具材がたっぷりの一品。6種の具材が絶妙なバランスで一体感ある美味しさです。ナポリタンは太麺にたっぷりケチャップがたまりません♪トーストにもよく合い、ボリュームながら女性でも完食される美味しさ。パスタについてくるもずくスープは和風だけど洋風にも合う、と人気です。元気に笑顔で迎えてくれるオーナーの片倉さんは「美味しい、と言ってももらえるのが本当に嬉しいです。地域の方々に喜んでもらえる、ホッとできる場所でありたいです」。ワンオペのため多少お待ちさせることもあります。その時間もゆったりくつろげる憩いの空間です。

うるくの
ココが好き！

スーパーや商業施設などなんでもあって便利だと思います！

オーナーの
片倉さん

地元の方へ
メッセージ

人生には思い通りにならないことや苦しいこともあります。人とのご縁や笑顔に何度も助けられてきました。これからも尊敬と感謝の気持ちを大切にしながら、トムソーヤで皆様を笑顔でお迎えしたいと思っています



憩いカフェトムソーヤ
☎ 090-1942-2448
📍 那覇市宇小禄1297-1
🕒 10:00-15:00
📶 水曜
📶 あり
🌐 tomsawyer.220



SPECIALサンド ¥550(税込)
華やか＆ボリュームで心も身体も大満足！

6種類の具材がたっぷりで豪華！



ナポリタン ¥850(税込)
昔なつかしいケチャップたっぷり＆
ボリューム満点！



ピザトースト ¥500(税込)
たっぷり具材にフレッシュ
トマトでバクバクいけす



店内は広々。
小上がり席も
ありますよ！

うるく 小禄の誇れる染織文化 小禄クンジー研究会だより

no.3

『手しごと市』に出展しました！

琉球王国時代に始まり戦前まで小禄地域で盛んに織られていた『小禄クンジー』の復活継承に向けて活動している『小禄クンジー研究会』。今回は『手しごと市』に出展した様子をご紹介します！

丹精込めて仕上げた品々を展示販売！

帯や着尺、服地などをはじめ、テーブルマットやカードケース、アクセサリーやサコッシュなど日常で気軽に使える品々を展示販売しました。



～ものづくりの日々 平和に感謝して～ 手しごと市

6月20日(土) 21日(日) 沖縄タイムスビルにて開催された『手しごと市』に小禄クンジー研究会が出展しました。本島各地をはじめ、石垣島や与那国島までの22工房が参加。やちもんや首里織、紅型など、沖縄の自然で育まれた素材を基に丹念な手作業で仕上げた民藝品が展示販売されたほか、様々なワークショップ、フード販売などもあり多くの人で賑わいました。



主催：沖縄民藝協会・沖縄タイムス社



テーブルマットは定番的な人気

若い世代に人気のサコッシュ

着尺や帯、服地など

藍色に染まったブースは目立っていました

アクセサリーや三線の
ティーガー(胴巻き)も

『手しごと市』を通じて若い人にも知ってほしい

藍色に染まった小禄クンジー研究会ブースは、たくさんのお客様が足を止め、商品を手にとってくださいました。丹精込めて織り上げ、商品化したものを購入してもらえるのは研究会メンバーにとってこの上なく嬉しいこと。小禄クンジーを知ってもらい商品を購入してもらえるこうした機会を

小禄クンジー研究会は大切にしています。沖縄タイムスの取材を受けた小禄クンジー研究会メンバーの屋富祖さんは「手しごと市を通じて、若い人にも興味を持ってもらいたい」と話しました。

小禄クンジー研究会

作業所 那覇市小禄5-4-6 宇小禄自治会館 敷地内
活動日時 毎週水曜 14:00-17:00
※お問い合わせ・見学等は活動日に直接お越しください

クンジー織り体験できます！

小禄クンジー研究所内で織り体験ができます。
素敵なコースターを織ることができますよ！

ウェブで歴史や
研究会の活動の様子を
ご紹介しています！



『小禄クンジー』
その歴史と復活まで



『小禄クンジー研究会』
小禄クンジーの復活
継承に向けて